

# (社)日本詩人クラブ 2019年 2月 例会のご案内

日時 2019年2月9日(土) 14時～17時

会費500円(会員・会友も)

会場 早稲田奉仕園 リバティホール

\*例会終了後、交流会を予定(サイゼリヤ) 会費3,000円

詩朗読 & スピーチ

中尾彰秀氏 (和歌山市)

花潜 幸氏 (東久留米市)

水崎野里子氏 (船橋市)

牧野 新氏 (富津市)

崔 龍源氏 (青梅市)

## シンポジウム「『新しい詩の声』をめぐって」

シンポジスト 中原秀雪氏 / 根本明氏 / 望月苑巳氏

コーディネーター 川中子義勝氏

いつの時代でも新しい詩の声は求められてきた。詩作が創造行為であるからだ。それでは、今求められる新しい詩の声とは何か。シンポジウムを試みる中で、詩が時代をどのように掘り下げたか、対峙してきたかが見えてくるかもしれない。

### プロフィール

#### ★中原秀雪氏(なかはら ひでゆき)

山形県生まれ。里の広島県呉市で育つ。名古屋在住。詩誌「 $\alpha\rho\chi\eta$ (アルケー)」主宰、日本現代詩人会会員、日本詩人クラブ会員、中日詩人会会員、日本現代詩歌文学館評議員。著書：詩集『祝婚歌』『瀬戸内海』『星のいちばん新鮮な駅で』、エッセイ集『レンゲ畑に寝ころんで』『光を旅する言葉』、文芸評論集『モダニズムの遠景』など。

#### ★根本 明氏(ねもと あきら)

1947年、宮崎県生まれ。千葉工業大学中退。1986年、詩誌「HOTEL」を始め(1997年から「hotel第2章」)に発行人。千葉県詩人クラブ会長。日本詩人クラブ、日本現代詩人会、千葉県詩人クラブ(現会長)、千葉市詩話会、詩誌「花」各会員。詩集に『海神のいます処』(2014 思潮社)『未明、観覧車が』(2006 七月堂)ほか6冊。2013年「第28回国民文化祭 現代詩の祭典」高校生部審査員、2015～18年「全国高等学校文芸コンクール」審査員を務める。

#### ★望月苑巳氏(もちづき そのみ)

1947年10月、東京・日暮里生まれ。高校在学中から詩を書き始める。東京スポーツ新聞社を退社後、フリーのシネマエッセイストに。「地球」同人を経て詩誌「孔雀船」を主宰。詩集『増殖する、定歌』『紙バック入り雪月花』『鳥肌のたつ場所』『ひまわりキッチン あるいはちょっとペダンチックな原色人間圖鑑』などがある。日本現代詩人会、日本詩人クラブ理事を歴任。日本ペンクラブ、日本文藝家協会各会員。10月に詩集『クリムトのような抱擁』を上梓した。

#### ★川中子義勝氏(かわなご よしかつ)

東京大学名誉教授。ドイツ文学・キリスト教思想史。ヨハン・ゲオルク・ハーマンの研究によりアマーリエ・フォン・ガリツィン賞(ドイツ1998)。『北方の博士・ハーマン著作選』(2002)。『詩人イエスドイツ文学から見た聖書詩学・序説』(2010)など。詩集『ものみな声を』(1999)『廻るときを』(2011)『魚の影 鳥の影』(2016)他。詩絵本『ふゆごもり』(1996/2006)『ミンナと人形遣い』(2002)、エッセイ『散策の小経』(2000)他。

〒169-8616 東京都新宿区西早稲田2-3-1  
☎03-3205-5411

- 東京メトロ東西線 早稲田駅  
出口2または3bより徒歩5分
- 東京メトロ副都心線 西早稲田駅  
出口2より徒歩8分
- 都バス 高田馬場駅より早大正門前行  
「西早稲田」徒歩3分

例会担当理事 谷口典子